

- 神戸建築物語デザインラリー (P.1)
- 神戸・まち歩きツアー／神戸ビエンナーレ2009 (P.2)
- 山麓リボンの道を行く その10 (P.3)
- ギャラリー企画展のお知らせ (P4) ほか

発行：神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

## 神戸建築物語デザインラリー開催 ～建築文化を活かした「デザイン都市・神戸」の推進～

神戸の市街地には、他都市には類を見ない北野の異人館街や旧居留地を中心とした近代建築群、御影・住吉周辺の山の手の邸宅群などがあり、郊外には茅葺民家や中世寺院が点在するなど、優れた歴史的文化的資源でもある様々な建築、まちなみを見ることができます。神戸市では、このような神戸の建築文化の魅力を広く知っていただくために、「神戸建築物語」と題して、その地域や建物にまつわる「歴史」を紐解き、「物語」として紹介するイベントなどを実施しています。

今回の「神戸建築物語デザインラリー」は、「デザイン都市・神戸」の取り組みの一環として、これまでの神戸建築物語で取り上げた地域のうち中央区内を中心とした 新港／北野異人館／旧居留地／元町・栄町・海岸通 の建築などを紹介した「神戸建築物語ラリーマップ」を片手に、神戸らしい建築・まちなみ・史跡等を歩いて楽しんでいただく企画です。

「ラリーマップ」は、神戸市総合インフォメーションセンター（ハローステーション神戸）、各区役所、こうべまちづくり会館などで、10月1日から配布します。マップのQRコードから携帯サイトにアクセスすることにより、マップには掲載しきれない、建物にまつわる物語や写真などをご覧ください。



ラリーマップ(イメージ)

10月1日～11月30日の期間は、「クイズラリー」も開催します。クイズは、各エリアの建物や地域に関連するもので、答えのヒントは現地の建物等に行けば分かるようになっており、クイズに答えて応募すると抽選で賞品が当たります。

神戸のまちや建物の歴史に興味のある方をはじめ、多くの皆様の参加をお待ちしています。



日本郵船会社より  
東方海岸通を望む  
(昭和10年頃)



居留地明石町通を南に望む  
(右：大丸神戸店  
左：旧三菱銀行三ノ宮支店)



旧三井銀行神戸支店  
大正5年竣工  
設計：長野宇平治  
平成7年、震災により解体



神戸倶楽部  
明治23年竣工  
設計：A.N.ハンセル  
昭和20年戦災により焼失

また、11月には、「神戸建築物語まちかど写真展」を開催し、戦前の建物や懐かしいまちなみの写真等を展示します。

展示場所：こうべまちづくり会館1階

展示期間：11月2日(月)～11月30日(月)

(水曜日休館)

こうべまちづくりセンター

神戸市都市計画総局計画部景観室

# 三都連携イベント 神戸・まち歩きツアー ～水という視点からの住まい・まちめぐり～

生田川源流である布引の水源地から、その河口部にある震災復興のシンボルトウン「HAT神戸」まで歩きます（すまい・まちに関するご当地クイズもあります）。

日 時／**10月31日(土) 13時～17時**（予定）

主 催／神戸市すまいの安心支援センター（すまいるネット）

こうべまちづくり会館

ガ イ ド／いきいき下町推進協議会運営委員

集合場所／新神戸付近（予定）

解散場所／HAT神戸付近（予定）

参 加 費／無料

※お申しいただいた方には、集合場所や解散場所のコースのご案内を後日お送りいたします。

問合先／すまいるネット TEL：078-222-0186 FAX：078-222-0106

チラシはこちらをご覧ください。http://www.smilenet.kobe-jk.or.jp/modules/news/article.php?storyid=70#mizu

**申込締切り**  
**平成21年10月22日(木)**  
**必着**

## ～港で出合う芸術祭～ 神戸ビエンナーレ 2009 開催



神戸に芸術文化の力を結集して内外に発信する機会を設け、神戸の芸術文化の更なる振興を図るとともに、まちのにぎわい、活性化につなげるため、2年に1度の芸術文化の祭典「神戸ビエンナーレ」を開催しています。



「神戸ビエンナーレ2009」テーマ：**わ wa**

「わ wa」とは、「平和 peace」、「調和 harmony」、「和み comfort」、「環 surrounding」、「輪 link」などを意味します。いまや地球上の社会すべてが、環境とともにある「美」意識を見直す時を迎えています。私たちの文化の根底に受け継がれてきた古くて新しい「わ」の姿勢を、21世紀の地球環境および文化創生のキーコンセプトとして国内外に提示したいと思います。

総合ディレクター 吉田泰巳（華道家）

### ビエンナーレ (biennale) とは

「2年に一度」というイタリア語を原意とし、転じて2年に一度開かれる美術展覧会のことをさします。

語源となったヴェネツィア・ビエンナーレが世界中から美術作家を招待して開催される展覧会として100年以上の歴史を有し、普段見ることのできない世界の美術を一堂に集めての、美術関係者や住民同士の国際交流が目的であったが、いまでは美術だけでなくデザイン、ポスター、映画、CG、建築などさまざまな視覚芸術分野や舞台芸術分野の2年毎の大規模展・公募展・招待展も「ビエンナーレ」という名で開催されています。

### ■会期

平成21年**10月3日**（土）

～**11月23日**（月・祝）（52日間）



### ■開催時間

10：00～18：00（最終日は17：00）

※入場は閉場の30分前まで

### ■主催 神戸ビエンナーレ組織委員会／神戸市

### ■共催 兵庫県

### ■会場 メリケンパーク／兵庫県立美術館ギャラリー ／神戸港／三宮・元町商店街 ほか

### お問い合わせ

神戸ビエンナーレ組織委員会事務局

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号

（神戸市役所2号館1階）

TEL：078-322-6490

FAX：078-322-6136

WEB：http://www.kobe-biennale.jp/



# 「山麓リボンの道」を行くーその 10:高取山のふもと

森崎輝行（いきいき下町推進協議会）

今回の「山麓リボンの道」は、市営地下鉄・山陽電鉄の板宿駅から北東へ約10分の距離にある平和台1丁目と五位ノ池町3丁目の間の坂道から東へ向かいます。

いよいよスタートです。この入り口の「坂道」が、この地区を特徴づけています。ここから先の、北を都市計画道路「山麓線」、東を長田商店街や長田神社のある「長田箕谷線」、南を「中央幹線」、西を「五位ノ池線」に囲まれたエリアは、「山麓密集地」の典型といわれています。（神戸大学の調査の際の定義では、「山麓密集地」を斜面の傾斜7%以上、住宅密度80戸/ha以上としています）



数年前から、神戸市では、山麓密集既成市街地の再編及び整備の必要性の気運が高まりつつある中で、具体的な整備手法やその効果的な展開、公民の役割分担などについて検討をしているようです。住んでいる住民の方には、「まち」の環境についての「アンケート」が実施され、まちづくりや建築の専門家からも様々な「まちづくり提案」がされてきました。それほど、このまちは、坂と階段が強烈なのです。高齢者や身障者にとって、まちは「バリヤ」だらけです。

このまちの開発の歴史は、神戸市という都市の膨張と一致しています。明治中期から大正末期に、地区外、特に海側の地域が整備され、昭和に入るとそれらの地域から徐々に浸食されるように市街化されていきます。昭和30年前後の高度成長期に、都市計画道路山麓線の整備がその市街化にはずみをつけ、山麓中央深部まで一気に密集化してしまいます。その後は、それらの穴埋めというような開発となっています。

それにしても、地形、勾配の激しいところでは、出来てしまいます。何の隙間かわかりますか？人工地盤と坂の間、坂と坂の間、階段と坂の間などなど、ここならではの「隙間」なのです。その空間は、自転車置き場や倉庫になったり、お地蔵さんがいたり、と。ゆとりの隙間でもありますが、使わなければ、目の届かない暗部にもなります。生活のニーズに応じて活用すれば、山麓の不便さを補うこともできます。「山麓密集地」で暮らす作法を学びながら、



このエリアを後にします。

再び、山麓線です。高校野球などのスポーツで全国的にも有名な育英高校の少し北に出ました。この道を横断し、リボンの道はコンクリートの急坂を登ります。市民には、この道は高取山の登山口として利用されています。かつて万葉の時代には、高取山の小祠の御神体に捧げる清めの「塩」を作るため、長田の浜で汲まれた海水を運ぶ「潮汲み」の道として使われたとも言われています。

地蔵尊が表れると、突然、コンクリートの道が狭隘な地道となり、住宅地に入ります。少し行くと、今度は「高取大明神」を分岐として、左にみちをとるとまだ地道の残った高取山への山道です。リボンの道は、右のルートです。右に進路をとり、山頂方向を目指しますと、その殆どは、階段となっています。正に、階段の山なのです。



高取山は、標高320mの独立峰です。「摂陽群談」によると、江戸時代の中期ごろまで、この山には鷹が巣をつくるのでよく捕えに登るから、「鷹取山」と呼ばれていたといわれています。山頂付近には高取神社があり、ここからの眺めは抜群です。

リボンの道は、清水茶屋まで行き、ヘアピンカーブのように、右へ折り返します。再び、市街地へ向かいます。約2km行くと、西山公園に出ます。この公園のそばの苅藻川を少し下ったところ、長田神社のすぐ西に「福聚禅寺」というお寺がありますが、このお寺は、長田神社の薬師如来を明治維新の神仏分離で移したことで知られ、「長田の薬師」と呼ばれています。



昔、長田神社の神はこの世に現れる時の姿は薬師如来だといわれ、神社の境内には薬師堂がありました。長田神社で毎年行われる鬼追式は、もとは、この薬師堂の行事でした。村の古記録には、「毎年正月十六日薬師堂にて鬼七疋、面をかけ踊り候」とありますが、鬼追は維新以来途絶えていました。しかし、明治四十三年からは復活し、毎年二月の節分の行事となっています。

(建築家)

# まちづくり会館ギャラリー 企画展のお知らせ

## ～旅する洋画家～ 長尾 <sup>かず</sup>和 展

平成21年11月12日(木)～24日(火)

※18日(水)は休館です

今回の企画展では、神戸在住の画家 長尾 和氏の風景画作品をご覧ください。  
長尾氏（1931生）は、香川県のご出身で16歳で油絵を始め、公立学校で教鞭をとるかたわら制作活動を続けてこられました。その後40歳のときに学校を退職、制作に専念されることになりました。

その頃から、瀬戸内に始まり日本海・九州などを旅し、人と自然をテーマに制作を続けられ、その後、中国各地との交流の中での作品や、60歳ごろからは地中海の人や風土を題材にした作品を数多く手がけられました。

今回は、瀬戸内から世界につながっていく長尾氏の作品の大きな流れをデッサンを中心に鑑賞ください。



## まちづくり会館 展示のお知らせ

### 1階オープンギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主 催 者
10月	(～15日) 防犯パネル展	神戸市危機管理室
	(16日～) 東南海・南海地震に備えて	
11月	神戸建築物語まちかど写真展	神戸市都市計画総局/こうべまちづくり会館
12月	(～12日) 市民花壇コンクール入賞作品展	神戸市公園緑化協会
	(15日～) 悪質商法・生活情報センターパネル展/下水道の適正利用・こうべバイオガス	神戸市市民参画推進局/建設局

※展示期間が変更になる場合があります。

### 地階ギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主 催 者
10月2日(金) ～ 10月6日(火)	フランス額装飾展	アールデコ
10月8日(木) ～ 10月13日(火)	チェリーの会展<油彩・水彩等>	チェリーの会
10月16日(金) ～ 10月20日(火)	みなと銀行福友会 会員展<油彩・水彩等>	みなと銀行福友会
10月22日(木) ～ 10月27日(火)	第18回 葦の会展<油彩>	葦の会
10月30日(金) ～ 11月3日(火)	第27回 神戸帆船模型の会 展示会<帆船模型>	神戸帆船模型の会
11月5日(木) ～ 11月10日(火)	水彩グループ舞子 作品展	水彩グループ舞子
11月12日(木) ～ 11月24日(火) ※18日(水)は休館です	<b>企画展 ～旅する洋画家～ 長尾 和 展</b>	こうべまちづくり会館
11月26日(木) ～ 12月1日(火)	神戸写遊会 写真展	神戸写遊会

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



### こうべまちづくり会館

開館時間：午前10時～午後6時（水曜日休館）

場 所：元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

### コミュニティ相談センター（まちづくり会館4F）

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付：午前10時～午後6時（水曜日休館）

ただし、印刷は5時まで

電話・FAX：078-361-4565